

# 都市公園みなくち総合公園再整備基本計画策定業務委託

## - 基本計画の概要 -

令和6年(2024年)1月

現況整理 1 公園内部環境

		現況課題	計画課題
水口スポーツの森	特性 樹林管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>■スポーツ施設や親水空間（大池）の背景となる樹林が密林化し、閉鎖性の高い公園景観となっている。</li> <li>■樹林の繁茂が眺望を阻害しているケースが多い。特に東側の芝生の丘周辺の樹林は遠景の山並みや、まちなみ、野洲川の流れが展開するスケールの大きな景観を分断している。</li> <li>■当該地の山林は植生図によるとモチツツジ-アカマツ林が概ね占有している。現在、樹林管理が施されておらず樹林内に立ち入れない状況にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■樹林の除間伐等の整備を行うことで、眺望確保並びにスポーツ観戦可能な空間となる。</li> <li>■除間伐、下草刈等を行うことで樹林の景観質の向上が期待でき、林地内でのニュースポーツ等のアクティビティへの活用も可能となる。</li> </ul>
	特性 池や丘	<ul style="list-style-type: none"> <li>■比較的規模の大きい大池は良好な景観であり、親水空間としての要素を持っている。現在は水面及び水辺は未利用となっており、水質悪化も見られる。当該公園のアメニティ要素として大きな役割を担うポテンシャルを有する。</li> <li>■遊具エリアは傾斜のある芝生地帯であり、丘からは水口のまちなみを眺めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■大池はかつてボートでの遊覧が行われていたが再活用については検討する必要がある。</li> <li>■水辺や水面を活用したアクティビティの導入について検討する必要がある。</li> <li>■丘の傾斜や景観を生かしたアクティビティの導入について検討する必要がある。</li> </ul>
	特性 老朽化施設/ 未利用地	<ul style="list-style-type: none"> <li>■事件・事故の温床となり得る要素があり、公園内景観を粗雑にする要因となるため、早急な撤去処分が望まれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■老朽化及び未利用地には、新しいスポーツ活動やレクリエーション活動の場の導入について検討する必要がある。</li> </ul>
公園内部環境 みなくちこどもの森	特性 自然学習体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>■田植え体験や昆虫観察会など少人数制のイベントが開催されているが、当該地の有する敷地特性やスケール感を踏まえると現形態の活用では、メニュー並びに規模とも乏しい印象を受ける。</li> <li>■炭焼き小屋が廃墟化し、それに付帯するレンゲ畑、蕎麦畑なども消失している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域農業関連の計画等と連携し、園内の田畑の活用メニュー、規模等について検討する必要がある。</li> <li>■炭焼き小屋、レンゲ畑、蕎麦畑等は、里山体験施設として、また里山景観を創る要素として重要な役割を担っているため、これらの復元を検討する必要がある。</li> </ul>
	特性 水辺環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>■大谷池は、ヨシが生育し、良好な水辺環境が見られ、水鳥の観察などでもできる。一方で、水辺へのアプローチ、滞留への安全性が十分とは言えない状況である。</li> <li>■北側、西側は護岸整備が施されているが、東側は自然な状態の水際となっている。樹林が魚付林の様相を呈しており、生物多様性の高い空間となっている。</li> <li>■昆虫広場や湿地帯など、学習機能を持っているが、雑草等が繁茂し、アプローチしにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■安全確保をした上で、動線や溜まりスペースを設置し、水辺のいきもの観察場として活用を検討する必要がある。</li> <li>■ネイチャーポジティブの考え方を導入するなど、生物多様性に配慮しつつ、積極的な自然資源利用を検討する必要がある。</li> </ul>
	特性 樹林竹林環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「シジウカラの森」、「花の森」、「タンポポの丘」等、各樹林のエリア名称が設定されているが、それらが印象付けられる樹林とはなっていない。</li> <li>■未整備の竹林の無秩序な拡大が懸念される。</li> <li>■森の広場周辺の樹林は、散生林～疎生林の構成となっており、比較的広い場所で、草地の昆虫や樹木などの自然観察に適している。また、自由度の高いレクリエーション活動の場となるポテンシャルを有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■現状を踏まえ、ネイチャーポジティブの考え方を導入しつつ、利活用メニューに対応した樹林の整備方法、管理方法を再検討する必要がある。</li> <li>■竹林は、生物多様性、景観性、斜面の安全性等の低下防止を図るため、除伐作業を定期的実施するとともに利活用を検討する必要がある。</li> <li>■散生林～疎生林は、印象度の高い活用方法を検討し、公園利用の促進に繋げる必要がある。</li> </ul>
	特性 園内動線	<ul style="list-style-type: none"> <li>■東側外周部、中央部に幹線園路とそれを補完する細園路が各所に設置されているが、園内の適切な利用を考えると、新規設置が求められる箇所や安全性の確保が求められる箇所等がある。</li> <li>■外周部に園路が設置されているが、密林化した樹林が園路沿いに連続し、アメニティ性にやや欠けた園路景観となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■現地地形、樹林状況を踏まえて動線の配置を検討する必要がある。</li> <li>■「自然」を直接見せることも重要ではあるが、公園景観としてアメニティ性に配慮した里山景観の導入、適切な管理方法の導入を検討する必要がある。</li> </ul>
	特性 自然館	<ul style="list-style-type: none"> <li>■古琵琶湖層や里山をテーマとした展示があり、昆虫や地学を専門とした学芸員や自然観察指導員など、生き物や自然環境のエキスパートが駐在する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■甲賀の自然環境についての知見を持つ職員が常駐している特徴を生かし、気軽に参加できるイベントはもとより、専門性のあるプログラムの導入やイベントも適宜開催し、利用者層の拡大を図る必要がある。</li> </ul>

現況整理 2 公園外部環境

		現状課題	計画課題	
公園外部環境	水口スポーツの森	同種、類似施設立地状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 県立希望ヶ丘文化公園などが見られるが、湖東南側エリアの貴重な総合スポーツ施設としてのポテンシャルは高く、利用促進は十分に可能。</li> <li>■ 市内では信楽地域で類似施設が少なく、信楽地域の住民にとっては貴重なスポーツ施設。</li> <li>■ 陸上競技場、多目的グラウンド（人工芝）、野球場は充実した施設であり、京都等の近隣府県からの利用者を対象とした広域での利用促進を進める必要がある。</li> <li>■ 里山、自然を活かしたフォレストアドベンチャーなどの民間類似施設が周辺地域には複数立地しており、新たなスポーツ機能の導入にあたっては、これらとの差別化が重要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 広域からの利用促進、集客促進を図るためのPRが必要。</li> <li>■ 民間事業者等も交えた多様で魅力的なプログラムの整備、充実を図る必要がある。</li> </ul>
		利用者入込数	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 令和3年度の施設利用者数は127,524人で、平成28年度から約5万人減少している。コロナウイルス蔓延の影響に加え、6~7千人の利用があったプールの利用を中止していることが影響。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 水に関わる利活用を検討し、公園利用促進を図ることが望ましい。</li> </ul>
		交通条件、アクセス性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国道1号、国道307号等の幹線道路。</li> <li>■ 広域では新名神高速道路 信楽IC、甲南IC、甲賀土山ICの3箇所よりアクセス可能。</li> <li>■ 鉄道はJR草津線貴生川駅よりアクセス（駅より徒歩20分圏内）。貴生川駅を起点に、近江鉄道、信楽高原鐵道が縦走。</li> <li>■ ほとんどの利用者が自動車によるアクセス。近隣住民や学生、児童生徒は自転車や徒歩でのアクセスも多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自動車利用者の利便性をより一層向上するための駐車施設等の充実を進める必要がある。</li> <li>■ 主要幹線道路からの案内サイン等の充実が重要。</li> <li>■ 自転車、徒歩利用者のための施設の拡充、周辺道路、園内道路における自転車歩行者道の整備なども重要。</li> </ul>
		地域資源との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市内観光資源（信楽焼、忍者等）との連携はほとんどない。</li> <li>■ 野洲川や周辺の里山との相互利用などはない。</li> <li>■ 野洲川対岸（水口市街地部）には飲食、物販などの商業施設が立地しているが、当該公園にとって利便性が高いとは言えない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市内の観光施設と連携した多様なプログラムの提供、相互利用の促進を図るための方策が重要。</li> <li>■ 既存スポーツ施設関連のスポーツ・音楽イベント以外にも他スポーツやレクリエーション活動でのイベント開催は可能である。イベントは重要な観光資源として位置づけ、利活用方法を検討する。</li> </ul>
		その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 人口減少、少子高齢化が進んでおり、多様な世代の利用促進、利便性向上を図ることが重要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ スポーツ利用にとどまらない、多様な利用方法、機能導入を検討する必要がある。</li> </ul>
	みなくちこどもの森	同種、類似施設立地状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 近江富士花緑公園、同植物園などの類似施設が見られる。展示施設としては、琵琶湖博物館などが見られる。</li> <li>■ 市街地に隣接しつつ里山も有する立地特性は、他の類似施設には無い魅力の一つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 当該公園における「目指すべき里山」について検討する必要がある。</li> <li>■ 本市ならではの自然、文化を伝える各種プログラムの提供、専門的な内容から初心者まで幅広い利用者をカバーするプログラムの提供が重要。</li> </ul>
利用者入込数	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 令和3年度の自然観入館者数は、6,255人で平成28年度から約5千人減少している。一方で、野外のみの利用者数は、令和3年度は2,368人と約600人の増加がある。コロナウイルス蔓延の影響により、屋内を避け、屋外利用が増加している。</li> <li>■ 農作業体験や自然観察会などが開催されている。小学校4年生を対象とした滋賀県の森林環境学習（やまのこ）も実施されているが、適切に管理されている樹林地は少なく、フィールドの拡大は現状では難しい。</li> <li>■ 一般の利用は極端に少ない。近年は、甲賀市（フィルムコミッション）による誘致促進もあり、映画やドラマ等のロケ地としての利用も増えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 里山の利活用によるイベントは、優れた観光資源となる要素がある。利用促進を図る利活用手法を検討する。</li> <li>■ 京都、三重、大阪など近隣府県へのPRが重要。</li> <li>■ 民間事業者も適切に交えた特徴的なプログラム、体験メニューの提供などを検討する必要がある。</li> </ul>		
地域資源との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 宿泊研修施設（グリーンヒルサントピア、サントピア水口）が隣接しており、合宿プランなども提供されているが、認知度が高いとは言えない。</li> <li>■ 周辺の農地、乗馬クラブ等のレクリエーション施設との連携はない。多様なプログラムの提供という意味では、周辺の地域資源との連携は今後の大きな課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市内の宿泊施設、レクリエーション施設と連携した充実したプログラムの検討、企画開発が重要。</li> </ul>		
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 駐輪場がなく、自然館横に2,3台駐輪できるスペースを設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 将来的な利用者増を考慮した適切な駐車、駐輪スペースの確保が望ましい。</li> </ul>		

### 現況整理 3 来園者アンケート結果

現状課題		計画課題
来園属性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■10代は、部活やサークル等で利用している人が多い。</li> <li>■20～40代は、子ども連れ家族が多い。家から近く、自然が多いこと、遊具が沢山あることが来園の動機づけになっている。</li> <li>■50代以降は、家が近いことに加え、自然が多いことが来園の動機付けとなっている。園内での過ごし方は散歩やウォーキングが最も多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■多様な年齢層に対応する利活用手法と整備の検討</li> </ul>
水口スポーツの森に対する要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>■幅広い世代から求められているものは、以下の通り。 アーバンスポーツエリア/スポーツ店/マウンテンバイクトレイルコース/夜間利用できるスポーツ施設/水遊びのできるエリア/大人も楽しめるエリア/屋内で遊べる施設及び休憩所/カフェ</li> <li>■幼児から5歳以下も遊べる施設・遊具を望む声は20、30代に多い。</li> <li>■健康遊具は50代以上の年齢層で求める声が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■既設スポーツ施設以外の新規スポーツメニュー導入と利活用時間の検討</li> <li>■多様な年齢層に対応する利活用手法と整備の検討</li> <li>■プール遊びの代替えとなる水に関わる利活用の検討</li> </ul>
みなくちこどもの森に対する要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>■幅広い世代から求められているものは、以下の通り。 里山体験エリア/自然散策路/花木を楽しめるエリア/水遊びのできるエリア/大人も楽しめるエリア/屋内で遊べる施設及び休憩所/カフェ</li> <li>■20～30代からは幼児～5歳以下も自然に触れ合える場所・施設・遊具がほしいという意見が多い。</li> <li>■博物館のようで、あまり遊べる雰囲気がないので、多様な遊びができる場所になってほしいという声がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■安全で快適な里山空間づくりの検討</li> <li>■幼児も参加できる里山利活用メニュー、施設整備の検討</li> </ul>
来園手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>■車での来園が8割を超えており、大会時等に駐車できるスペースが少ないことや、遊具エリア近くの駐車場が狭いことに対する不満の声がある。</li> <li>■10代は自転車での来園が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平時利用時の駐車場規模、イベント利用時の駐車場規模等について過去の実績を踏まえてその形態を検討する必要がある。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>■こども用トイレ、おむつ交換台、授乳室が不足しており、子ども連れ家族にとっては不便である。</li> <li>■日陰のある箇所が少ないため、夏の日差しや雨天時の避難場所となる拠点が求められている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子ども連れ家族が利用できるトイレ、授乳室を導入し、利便性を向上させる。</li> <li>■屋内だけでなく、屋外でもゆっくりくつろげる憩いの空間づくりを検討する。</li> </ul>

来園者アンケート結果

# 水口スポーツの森 現況特性図



キャンプファイヤー場からの眺め  
キャンプファイヤー場からの景色は開放的である。



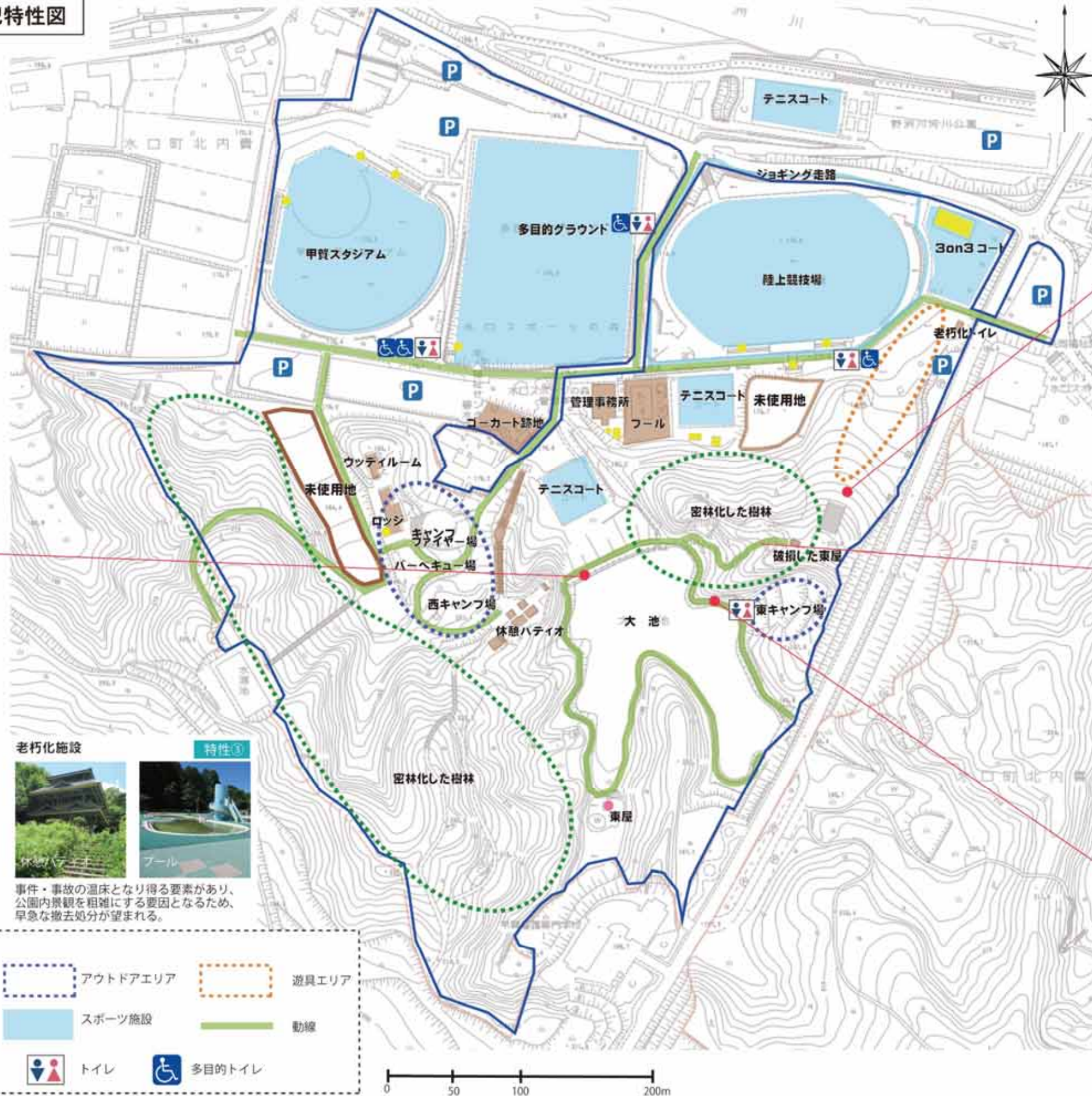
大池の眺め  
かつて、ボート乗り場があったため、池に降りる階段は設置されている。池や山が見え、景観は良い。



大池周辺からの眺め  
雑草や樹林が繁茂しているため、スポーツ施設の背景となる樹林は、快適性のある空間が求められる。



西キャンプ場  
良好なモミジ林が形成されており、明るく開放的である。



遊具エリア  
傾斜があるため、ベビーカーの乗り入れが困難な上、幼児が転びやすい。芝生の丘は、Lと100mWと60mの規模を有し、勾配も1:2~1:5程度の緩やかな傾斜となっており、公園景観を構成する要素として優れた存在となっている。



遊具エリア上からの眺め  
遊具エリア上からは、甲賀市の市街地と、市の母なる野洲川を見渡せる公園内では、唯一の場所。



林内  
林内に階段はあるが、案内板がなく、アクセスできる動線がない。また、林内も暗く、快適性に劣る。



東キャンプ場  
キャンプ場までの道が狭いため、車の横づけができない不便さがある上に、木々が生い茂り、閉鎖的であるため、防犯上不安を抱く。



園路の様子  
大池の周囲を散策できるが、木々が密生しているため、見通しが悪く、散策道としては、快適性に劣る。

〈凡例〉

水口スポーツの森区域	アウトドアエリア	遊具エリア
老朽化施設	スポーツ施設	動線
倉庫	駐車場	トイレ
	多目的トイレ	

# みなくち子どもの森 現況特性図

## 自然館

特性①



古琵琶湖層や里山をテーマとした展示があり、昆虫や地学を専門とした学芸員や自然観察指導員など、生き物のエキスパートが駐在する。

## 草沢池 (ため池)

特性②



草沢池は一部、立ち入り可能で、生息しているヒシを採取できる。北側と西側は護岸整備されている。

## 水口スポーツの森とみなくちこどもの森を繋ぐトンネル

## タンポポの丘

特性③



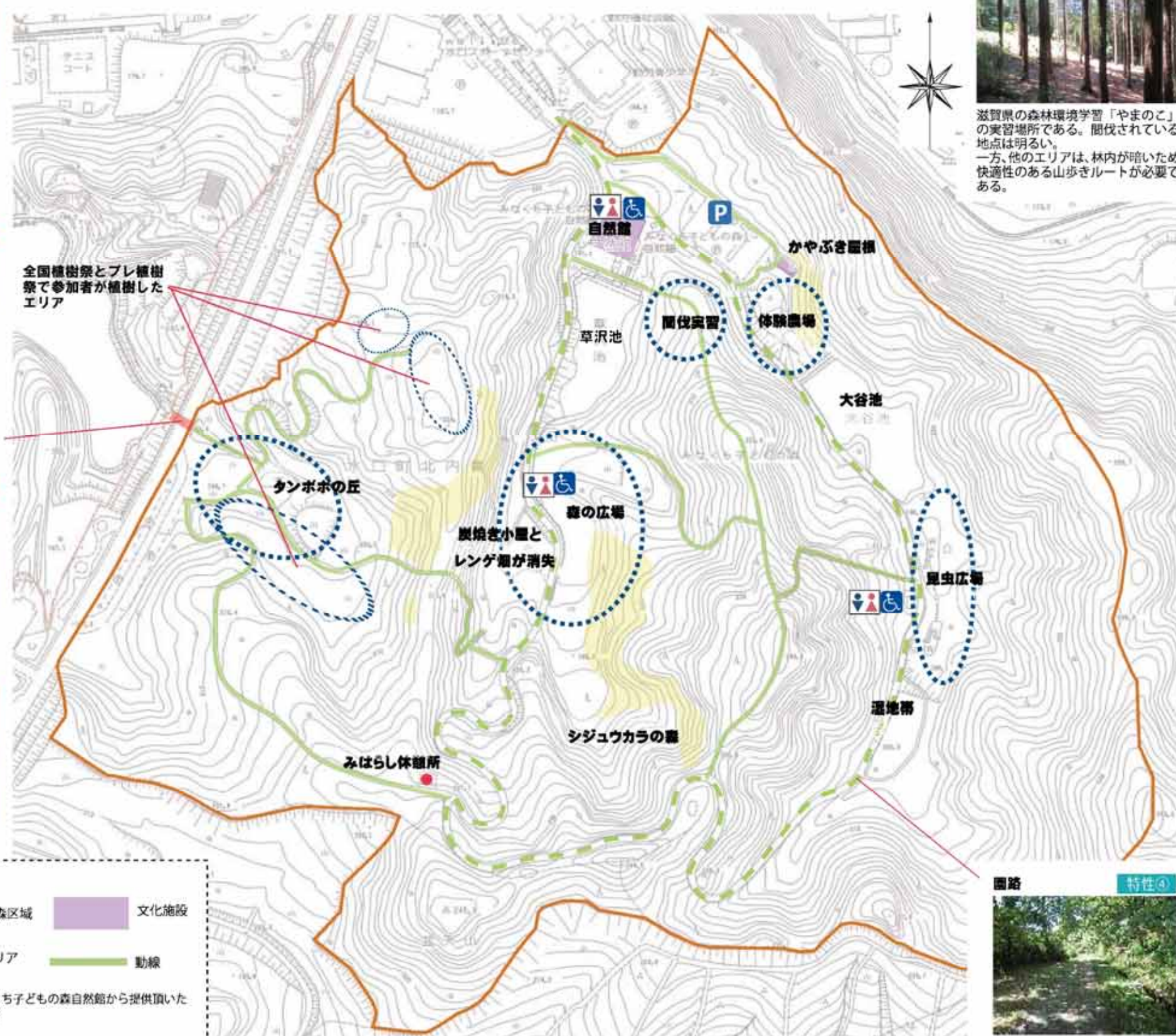
タンポポの丘エリアとされているが、エリア名から想定できる雰囲気はない。東側に小規模の梅林がある。

## みはらし休憩所

特性③



東屋が設置されているが樹林が密生化し、見通しは悪い。



全国植樹祭とプレ植樹祭で参加者が植樹したエリア

タンポポの丘

炭焼窯小屋とレンゲ畑が消失

森の広場

大谷池

昆虫広場

湿地帯

シジウカラの森

みはらし休憩所

かやぶき屋根

間伐実習

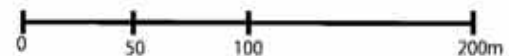
体験農場

自然館

草沢池

〈凡例〉

- みなくちこどもの森区域
- 文化施設
- 自然体験・学習エリア
- 動線
- 竹林エリア (みなくちこどもの森自然館から提供頂いた植生図を用いて作成)
- 駐車場
- トイレ
- 多目的トイレ



## 間伐実習地

特性③



滋賀県の森林環境学習「やまのこ」の実習場所である。間伐されている地点は明るい。一方、他のエリアは、林内が暗いため、快適性のある山歩きルートが必要である。

## かやぶき屋根の家・体験農場

特性①



小さな田畑があり、1年を通して田植えや稲刈りの体験講座を実施しているが、少人数制であり、地域を特徴づけるイベントが乏しい。

## 大谷池

特性②



ヨシが生育し、良好な水辺環境が見られ、水鳥の観察などもできる。

## 昆虫広場

特性①



ビオトープとしての機能があるが、雑草が繁茂し、近寄りづらい。安全にアクセスできる確保が必要である。

## 森の広場

特性③



比較的広い場所であり草地のバッタ類や周辺の樹木など、自然観察に適している。

## 園路

特性④



点線の動線は、1周約2km、所要時間は40～60分。園路は舗装されている箇所や砂利道など様々で、バリアフリー化の整備が求められる。

## 湿地帯

特性②



葎や湿地帯を代表する樹木ハンノキが生息し、鳥類の隠れ場所にもなっている。一方、葎が繁茂しているため、管理しやすい動線確保が必要である。

公園の諸条件、周辺環境からの課題

【水口スポーツの森】

既存施設のリニューアル、機能拡充を順次進める  
 除間伐、枝打ち、下草刈等の管理作業により、スポーツ・レクリエーション活動の空間を拡充し、利活用メニューを多様にする  
 ことで公園利用の促進を図る  
 大池や芝生の丘等、当該公園ならではの公園資源を生かした利活用メニューを検討  
 老朽化施設撤去跡地等の有効活用を図る利活用メニューを検討  
 飲食、物販等の利用者の利便性を高める機能拡充を検討

【みなくちこどもの森】

ネイチャーポジティブの考え方を導入した里山等の適切な維持管理、利活用を進める  
 大きくなりすぎた樹木や竹林の管理は課題であり、維持管理手法及び利活用手法を検討  
 アメニティ性の高い里山景観の導入について検討  
 民間活力も導入し、現況地形特性を生かした里山体験メニュー等を検討  
 水辺環境の生物多様性の維持、安全性の確保と学習機能の充実  
 獣害対策が必要

利用者アンケート調査結果等からの課題

【水口スポーツの森】

テントサイトの拡充と円滑なアクセスにより利用促進を図る  
 プール遊びの代替となる水に関わる利活用を検討し、公園の利用促進を図る  
 多様な年齢層に対応した新規スポーツ・レクリエーションの導入及びイベント開催メニュー等を検討  
 平時駐車場、イベント時駐車場規模について利用実績を踏まえて、その形態を検討

【みなくちこどもの森】

「目指すべき里山」について検討  
 里山体験イベントは、観光資源となる要素がある。幼児も参加できる里山体験の利用促進を図る体験メニューを検討  
 快適性のある里山空間づくりを検討

これからのみなくち総合公園に求められる姿

【水口スポーツの森】

除間伐、枝打ち、下草刈等の定期的な管理の実施により、スポーツ・レクリエーション活動の空間が拡充され、多様な利活用メニューも導入することで利用者の満足度が高い公園  
 大池や芝生の丘等の公園ならではの資源、特徴的な地域資源を取り入れ、連携した利活用メニューが積極的に導入された公園  
 老朽化施設は撤去され、跡地等の低未利用地を有効活用した次代に相応しい公園  
 キャンプ場の再生、テントサイトの拡充と円滑なアクセス確保等によりアウトドアニーズに対応した公園  
 プール遊びの代替となる水に関わるアクティビティ施設、子ども向けの施設が導入された安全で安心して楽しめる公園  
 新規スポーツ・レクリエーションが導入され、多彩なイベントメニュー等もプログラムされた多様な年齢層に対応した公園  
 歩行者や自転車利用者の安全性が向上し、利用者の自動車によるアクセス性や十分な駐車場が確保された利便性の高い公園

【みなくちこどもの森】

地域の歴史や文化、風土を生かし、地域農業振興にもつながる里山体験、農業体験プログラムが提供された公園  
 ネイチャーポジティブの考え方を導入し、竹林、雑木等が適切に維持管理されることで生物多様性が保全され、人と自然との距離を近づける環境配慮型の公園  
 アメニティ性の高い里山景観、里山空間づくりが実現した公園  
 水辺環境の安全性、利便性が確保され、学習機能が充実した公園  
 「目指すべき里山、環境」について市民や環境団体等との対話の機会が設けられ、多様な主体の参画と協働で守られた公園  
 多様な世代が参加できる里山体験プログラムが用意され、観光振興にも貢献する公園

- ★ ユニバーサルデザインに配慮した空間整備が行われ、あらゆる利用者のスポーツ・レクリエーション活動や世代間、地域間交流活動の機能が充実した公園
- ★ 市民・企業・行政などの連携による円滑な運営、維持管理が行われている公園
- ★ 次代を担う子供たちの愛郷心が育まれる環境で、環境学習機能や自然活動体験機能が充実した公園
- ★ 国レベルのスポーツ(障がい者含む)競技力を有する選手の育成を目指した仕組みと施設整備が施された公園
- ★ 森林空間に「忍者」「山伏」「薬」をキーワードとした魅力的で印象度の高い利活用手法を導入し、観光資源化された公園
- ★ 市民、団体、行政などが連携して管理運営に参画し、自然環境や地域の歴史文化、風土などを生かして里山の景として取込み、体験学習の場として活用している公園

第2次甲賀市総合計画

- 公園のユニバーサルデザイン化を図り、市民、企業、行政の連携による運営に取り組む。
- ルールや規制を見直し社会のニーズに対応する。
- 自然体験・環境学習等の魅力あるプログラムを提供する。

甲賀市都市マスタープラン

- 世代を超えた憩いや交流、レクリエーションの場としてバリアフリー化などによって機能の充実を図る。
- 災害時の避難場所としての活用を図る。
- 安心して利用できるように適切な維持管理や遊具などの安全点検を行う。
- 市民・団体等による維持管理の拡充を図る。

第2次甲賀市環境基本計画

- 良好な水辺環境の保全・活用を図る。
- 動植物の種の多様性の保全に努める。
- 環境学習や自然活動体験を通じて自然への理解を促進させる。

甲賀市公共施設等総合管理計画に基づく第1期行動計画

- 管理棟は、令和10年度以内に長寿命化に向けた大規模改修を行い利用者の安全対策と利便性を向上させる。
- ロッジ、陸上競技場、野球場は、令和11年度以降に長寿命化に向けた大規模改修を行い利用者の安全対策と利便性を向上させる。
- ウッディハウスは、老朽化が著しく、今後取り壊す。

甲賀市子ども・子育て応援団支援事業計画

- スポーツ・レクリエーション活動を通じて子どもの世代間、地域間交流の促進を図る。
- 子どもの愛郷心を育む環境づくりと体験学習の充実を図る。
- 親子が雨の日でも気軽に遊べる場の確保に努める。

甲賀市スポーツ推進計画

- 幼児から高齢者、障がい者などあらゆる人の健康づくりと交流を図る。
- 国レベルのスポーツ(障がい者含む)大会に向けた競技力の向上とその施設整備を図る。
- 国レベルのスポーツ(障がい者含む)大会開催を見据えた施設整備を検討する。

第2次甲賀市観光振興計画

- 地域活性化の「鍵」を「観光」として位置づけ、甲賀市に住み続けたい、移住したいと思える仕組みづくりを行う。
- 地域振興の先導的な役割に「忍者」を据えることで地域ならではの観光振興や地場産業などへの相乗効果を生み出すことを目指す。
- 観光資源・観光商品の開発・磨き上げ、甲賀市ならではのおもてなしの体制づくりを推進する。
- 観光拠点施設の整備及び観光資源のネットワーク化を図る。
- 信楽焼など地場産業をはじめとする他産業や各種団体との連携を図る。
- 誘客促進戦略として、多様なツーリズムや体験プログラム及び体験型ツアー等を推進する。
- 地域資源を生かした集客交流ビジネスの促進する。

## 基本理念・基本方針の設定と、公園再整備のためのゾーニング（全体構想）

### 基本理念

古琵琶湖層により形成された複雑な地形が広がる地理的環境下にあった甲賀地域は、この地の利を生かし、様々な歴史文化、里山等の自然を育んできた。その中で特に「忍び」「山伏」「生薬」は地域の代名詞となっており、「神秘性」の高い風土を有する地域として印象付けられる。

計画地は、地域コミュニティ活動の場、新たな活力醸成の場として機能させるが、このシンボリックな印象を有する風土と一体化したなかで事業を展開させる。

**スポーツ・レクリエーション活動を通じて  
地域のコミュニティと新たな活力の醸成を図る公園づくり  
～人とひと、人と自然が繋がるスポーツと森の景色～**

### 基本方針 4, 5

#### 基本方針 4. 修景的な森と里山景観づくり

スポーツ・レクリエーション活動や環境学習、体験学習は、四季を鮮明に感じながら実践することで印象度が向上し、公園の利用促進が図られる。そのため、これら活動や実践の場となる周辺の樹林は、明るく、豊かな表情に導く公園づくりを進める。

みなくち子どもの森では、里山の自然環境が保全されている。甲賀市の普通種や希少種など多くの生物が生息する中で、自然観察会などの行事を実施するほか、学校など団体の利用受入を積極的に進めるなど、様々な体験活動や環境学習を行っていく。また、今後も生物多様性が保たれるよう、適切な管理を行うことで、利用者にも里山の動植物にも快適な公園にしていく。

#### 基本方針 5. 市民、団体、行政が連携し管理運営に参画する体制づくり

ネイチャーポジティブの考え方を導入し、官民が相互に連携して、自然資源や歴史文化、地域の風土の特徴を積極的に生かした公園づくりを進める。

計画地では、持続的な里山管理が必要であり、今後も企業や団体等の支援を頂き、多くの方と関わりながら生物多様性をまもる体制づくりを進める。

### 基本方針 1~3

#### 基本方針 1. 個性豊かな公園づくり

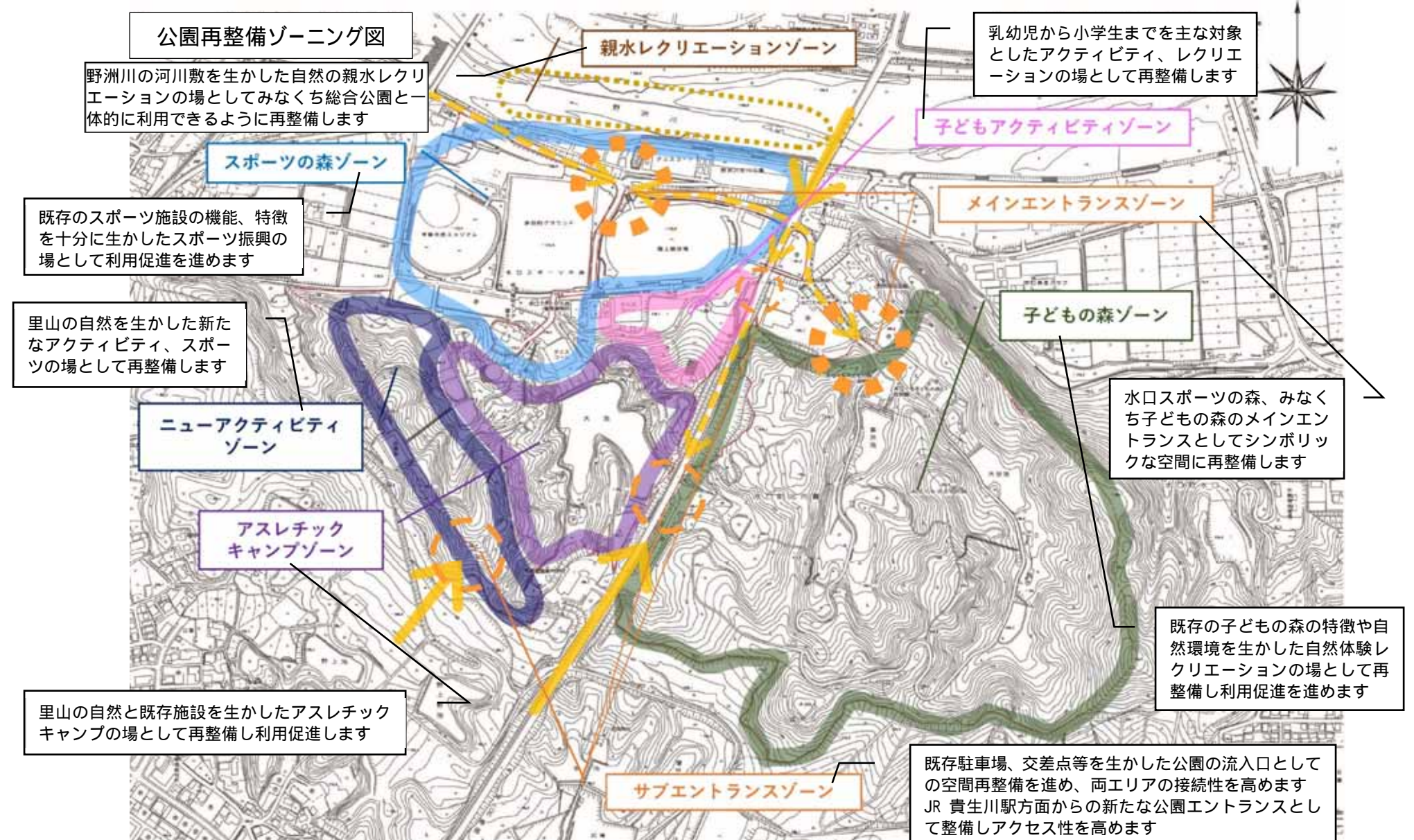
計画地には大池をはじめとする親水空間や芝生の丘、生物多様性の高い森林や湿地など、特徴ある公園資源がある。また、「忍者」「山伏」「生薬」「里山」をキーワードとする風土資源も有する。これらを生かした甲賀市ならではの公園づくりを進める。

#### 基本方針 2. あらゆる利用者のスポーツ・レクリエーション活動・交流活動を支援

ユニバーサルデザインを随所に採り入れ、健常者、障害者、多世代の利用者の日常の健康づくりと競技力向上に寄与するインクルーシブな公園づくりを進める。また、みなくち子どもの森は、環境学習、体験学習の場となるが、幼児をはじめあらゆる利用者が参加できるような形態を創る。

#### 基本方針 3. 新たなスポーツ・レクリエーション活動の導入

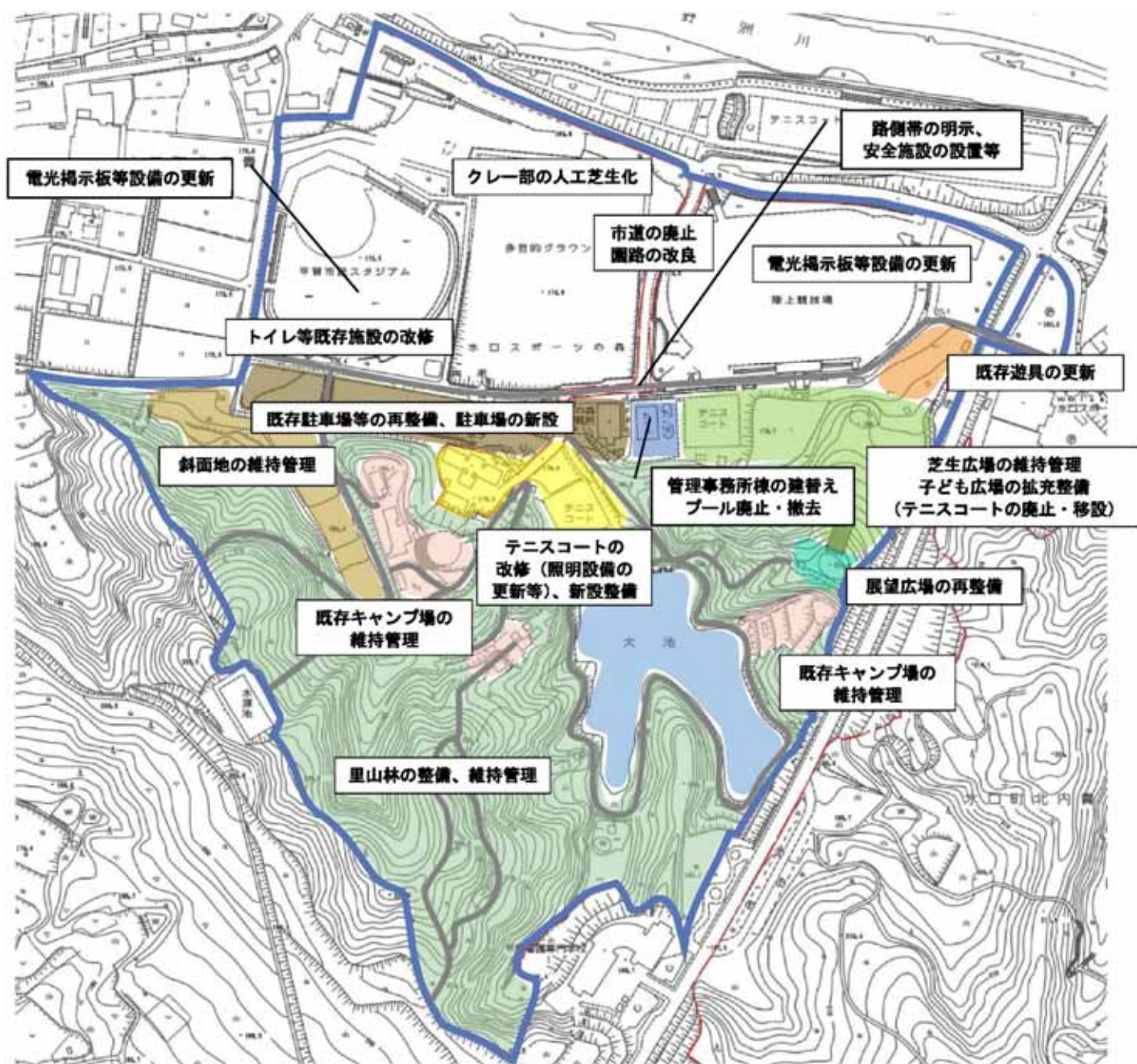
既存施設更新に伴い発生する遊休地や優れた公園資源、自然地形を有効活用して、快適性や印象度の高い利活用メニューを観光資源として提供する公園づくりを進める。



## 公園再整備基本計画案（既存施設リニューアル案）

この再整備案は、既存施設を生かしつつ、必要な維持管理活動や再整備内容について当面の目標としてとりまとめたものです。最終的に採り入れる事業手法によっては、異なる内容になることも想定されます。

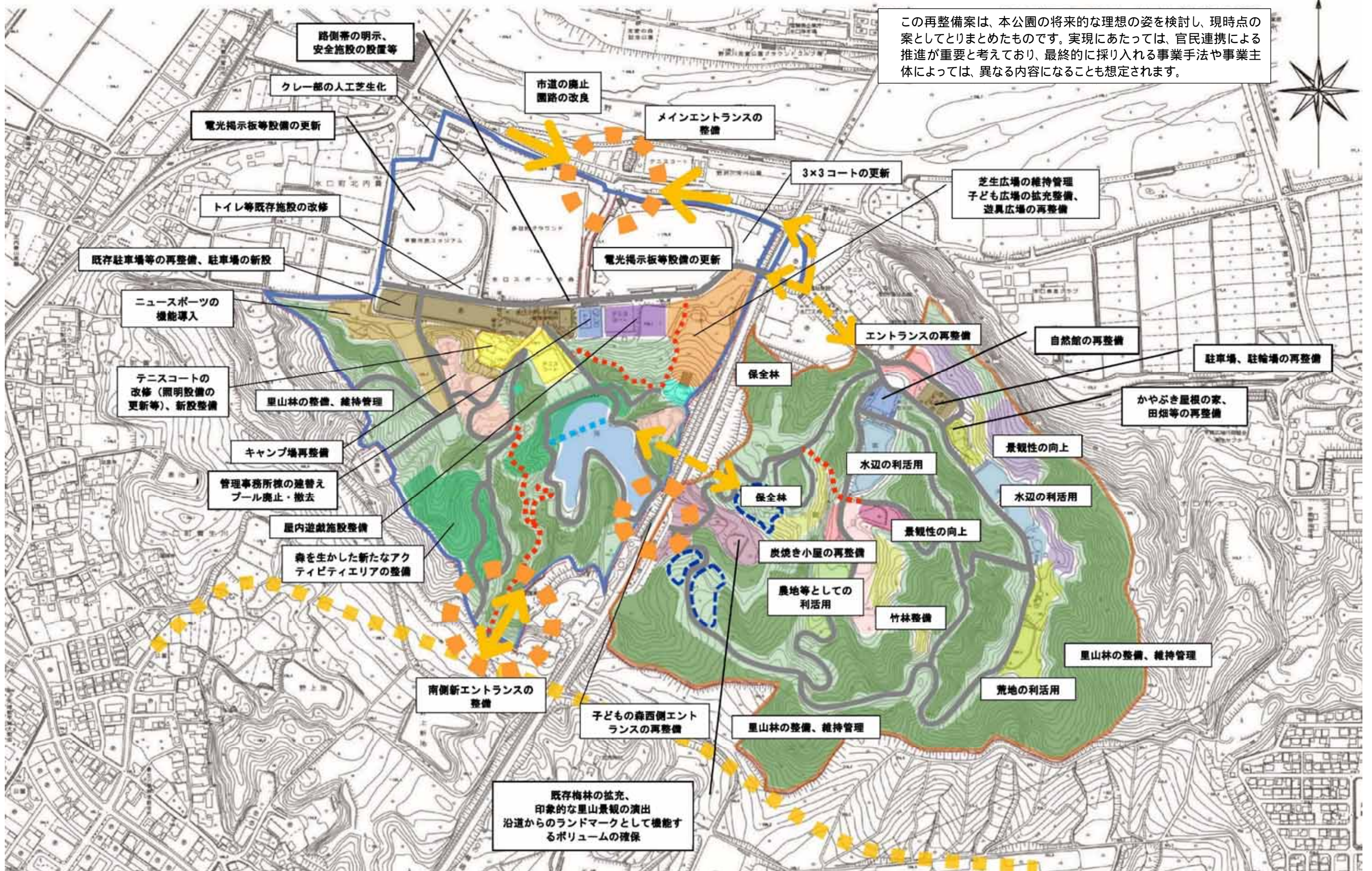
水口スポーツの森 再整備構想図(既存施設リニューアル案)



みなくち子どもの森 再整備構想図(既存施設リニューアル案)



公園再整備基本計画 全体再整備案（将来構想）



## 公園再整備プログラム案

限られた財源の中で、理想の再整備の姿を一気に実現することは現実的ではなく、段階的に効果的な整備を進める必要がある。そこで、まずは2025年に開催を控える滋賀国スポまでを短期とし、以降をさらに5年後（中期）、10年後以降（長期）に区切り、必要な再整備メニューを選定して、効果的な再整備、維持管理活動を進める。

実施時期	再整備内容	ゾーニング	公園再整備案
短期	<b>《～滋賀国スポ（2025年）まで》</b> <b>【水ロススポーツの森エリア】</b> <b>■設備改修、メンテナンス等の実施</b> ・多目的グラウンド人工芝化、トイレ他設備改修、メンテナンス ・市民スタジアム電光掲示板他設備改修 ・陸上競技場電光掲示板他設備改修	スポーツの森ゾーン	(1) 既存施設 リニューアル案 (※一部、 全体再整備案の内容を含む)
	<b>■設備改修、メンテナンス等の実施</b> ・遊戯広場既設遊具更新、メンテナンス <b>■施設廃止、更新等の実施</b> ・プール廃止 ・管理事務所棟更新（建替え）	子どもアクティビティゾーン	
	<b>■設備改修、メンテナンス等の実施</b> ・テニスコート（南）等園内照明灯更新 ・キャンプ場の維持管理、各種設備更新 ・里山林の整備、維持管理	アスレチックゾーン・ニューアクティビティゾーン	
	<b>■道路、園路の再整備</b> ・路側帯の明示 ・安全標識等の歩行者、自転車の安全性確保のための設備設置	メインエントランスゾーン	
	<b>【みなくち子どもの森エリア】</b> <b>■設備改修、メンテナンス等の実施</b> ・自然館ほか園内施設の各種設備の更新、メンテナンス ・園内散策路の改修、維持管理 ・里山林の整備（除間伐等）、維持管理、竹林の再整備 <b>■施設廃止、更新等の実施</b> ・炭焼き小屋の廃止、撤去	子どもの森ゾーン	
中期	<b>《滋賀国スポ～5年程度》※設備等メンテナンスは継続的に実施</b> <b>【水ロススポーツの森エリア】</b> <b>■施設廃止、更新等の実施</b> ・テニスコート（東）廃止、撤去 ・プール撤去 ・ふれあい（展望）広場の機能拡充 <b>■施設整備、新規機能導入</b> ・屋内遊戯施設整備（※） ・カフェ（飲食）、物販施設等の整備（※） <b>■駐車場等の確保</b> ・駐車場、駐輪場新設（バリアフリー対応等）（※）	子どもアクティビティゾーン	
	<b>■施設廃止、更新等の実施</b> ・老人福祉センター廃止、撤去 ・園内市道の廃止、道路改良（歩道、横断帯の設置）等 <b>■施設整備、機能拡充</b> ・テニスコート新設	アスレチックゾーン	

実施時期	再整備内容	ゾーニング	公園再整備案
中期	<b>【みなくち子どもの森エリア】</b> <b>■施設廃止、更新等の実施</b> ・園内散策路の再整備（通路更新、拡幅、垣柵の設置等） <b>■施設整備、新規機能導入</b> ・森林除間伐による眺望ポイントの整備（※） ・森林の樹種更新、花卉類・果樹類等の景観作物の導入	子どもの森ゾーン	(2) 全体再整備案
	<b>《10年後～》※設備等メンテナンスは継続的に実施</b> <b>【水ロススポーツの森エリア】</b> <b>■施設廃止、更新等の実施</b> ・バスケットコート（3×3コート）の再整備、機能拡充	スポーツの森ゾーン	
長期	<b>■施設廃止、更新等の実施</b> ・キャンプ場更新、機能拡充 ・大池機能更新、水上アスレチック等整備 <b>■施設整備、新規機能導入</b> ・新規スポーツ施設整備 ・アスレチック等施設整備 <b>■道路、園路の再整備</b> ・園内道路（旧市道）の付け替え	アスレチックゾーン・ニューアクティビティゾーン	
	<b>■道路、園路の再整備</b> ・南側エントランス空間の整備（ゲート、案内サイン等の設置） ・国道アンダーパスの再整備（舗装、照明等）	サブエントランスゾーン	
	<b>【みなくち子どもの森エリア】</b> <b>■設備改修、メンテナンス等の実施</b> ・自然館内各種設備の更新、コンテンツの新規導入 <b>■施設廃止、更新等の実施</b> ・池周辺親水空間の再整備 <b>■施設整備、新規機能導入</b> ・メインエントランス、古民家周辺での農業体験施設（施設園芸、炭窯等）の整備、機能拡充（農地エリアの拡大等）	子どもの森ゾーン	
	<b>■道路、園路の再整備</b> ・メインエントランス空間の整備（ゲート、案内サイン等設置） ・歩道部（交差点～メインゲート間）のデザイン化、植栽等の再整備、案内サインの設置等 ・メインゲートの再整備 ・駐車場の再整備（必要駐車台数確保、	メインエントランスゾーン	
	<b>■道路、園路の再整備</b> ・西側エントランス空間の再整備（ゲート設置、案内サイン等の再整備） ・国道アンダーパスの再整備（舗装、暗渠・トンネル部の照明新設、壁面のデザイン化等） ・駐車場の再整備（バリアフリー対応等）	サブエントランスゾーン	